

(4) 「一緒に考えよう！西表島の未来と世界自然遺産」 古見会場 結果概要

■日時：平成30年11月18日（日）13:00～15:00

■場所：古見の浦の里



■意見交換

話題①：これからの西表島はどんな島であって欲しい？



古見会場 テーマ①

○住環境

- ・海岸が綺麗でゴミのない島
- ・台風が多いので、停電の対策を強化していただきたい

○自然の恩恵

- ・のんびりゆったり過ごせる島

- ・ 静かな島
- ・ 自然豊かで静かな島
- ・ 星空の美しい島
- ・ 自然豊かな島
- ・ 水のきれいな豊かな水のある島
- ・ 自然の恩恵を受けられる島（食べ物）
- ・ 狩猟採集のできる島
- ・ 島のものを食べられる島（本当においしいものを食べたい）

○コミュニティ

- ・ 各集落に適度な人数の住人がいる島
- ・ 不便さを楽しめる島、それができる人達が住んでいる島
- ・ みんなが仲良くできる島
- ・ 人が住んで良い島
- ・ 子育てしやすい島、大人が子どもに、こどもが大人に自然に話しかけられる島
- ・ 子どもが元気な島
- ・ 自由な教育大きな視野（子ども）
- ・ 子どもが元気に外で遊べる島
- ・ 島で育った子どもが大人になって帰ってきたくなるような島
- ・ 伝統文化が世代を超えて引き継がれる島

○産業・全般

- ・ 農産加工のアイデアであふれた島
- ・ 外の地域からの模範になるような取組（エネルギーや農・環境問題）

○その他

- ・ 今に満足しているので大きな変化は望まない

話題②：そのために、世界自然遺産を活かして実現できることは？

(選択したテーマ：ゴミのない島)



古見会場 テーマ②

○対策等

- ・ゴミ箱を設置 (少ない)
- ・ゴミ袋が高すぎる
- ・漂着ゴミの回収・処分をもっと簡易 (システムティック) にできないか
- ・オイルフェンスのようなゴミフェンスを沖合につくれないか
- ・海上ルンバの開発
- ・ボランティア回収ゴミ (漂着) の処理システムの構築 (リサイクルセンターに受け入れ場所を設ける等)
- ・一時置きボックスの整備 (港) 住民が集めやすい場所など
- ・マイクロプラスチックの問題を島の人に知ってもらう
- ・企業に簡易包装や抑制を呼びかける (プラスチック減少キャンペーン)
- ・プラスチック製品を作らない企業を増やす
- ・ゼロエミッションの先進企業に西表をモデルにしてもらう
- ・プラスチック発泡スチロール再利用
- ・プラゴミのリサイクル化
- ・ダンボールの再利用
- ・ゴミのエネルギー利用
- ・製造者に負担をかけ、商品の料金に転嫁する方法の検討 (受益者負担 (意識が低い人にも応分の負担が自然にできるような仕組))
- ・農業ゴミを回収する仕組みをつくってほしい

- ・有機物素材の梱包品の開発（乾草のロールプラスチック等）
- ・ゴミを重量で買い取ってくれる仕組みをつくる
- ・農協・販売店と連携→回収・処分費用を上乗せ→デポジット
- ・漁業ブイの処分→給湯用、焼却用エネルギー
- ・ゴミは宝！！（換金資源として価値づけ）
- ・自ら出すゴミを減らそうとする意識の醸成
- ・観光客に「島外ゴミ持ち帰り用」と書いた袋を配布する
- ・西表にくる観光客がゴミを出さないようにする仕組み→マイカップを持ってきたらサービス等
- ・ペットボトルから瓶へ（不便さを受け入れる）
- ・ペットボトル→個人ボトル（何回も使う）：西表島に入る時に購入協力依頼